

セーシェル（2023 年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在セーシェル日本国大使館](#)

- 2021 年度日本語教育機関調査結果
- 日本語教育の実施状況
- 教育制度と外国語教育
- 学習環境
- 教師
- 教師会
- シラバス・ガイドライン
- 評価・試験

1.2021 年度日本語教育機関調査結果

機関数	教師数	学習者数								
		合計	初等教育		中等教育		高等教育		その他教育機関	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	1	7	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%

（注） 2021 年度日本語教育機関調査は、2021 年 9 月～2022 年 6 月に国際交流基金が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

セーシェルには日本企業の現地法人がなく、日本語を仕事に生かす機会はほとんどないため、日本語学習の積極的な動機が得られる環境ではない。2021 年 2 月、ヴィクトリア市の生涯学習センター「Seychelles Institute of Distance and Open Learning (SIDOL)」に社会人向け日本語クラスが開講されたが、受講者数の減少が原因で現在は休講となっている。

特徴

将来日本に渡航したいという思いやアニメなどの日本文化への関心を持つ人は多いが、必ずしも日本語学習への意欲にまで発展していないのが現状である。

日本語教師（セーシェル人）が 1 名しかいないため、今後の発展には教師の育成、日本語教育体制の整備が課題となる。

最新動向

特になし。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

学校教育以外

セーシェル人の日本語教師 1 名が日本語のプライベート・レッスンを行っている。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

初等教育が 6 年間（6 歳～12 歳）、中等教育が 5 年間（13 歳～18 歳）である。その後、アドバンスレベル（2 年間）、職業専門学校（1～3 年）、技術専門学校（1～3 年）などへ進学し、更に高等教育（大学）へ進学する者もいる。高等教育期間は学部などによって異なる。

教育行政

教育省の管轄。

言語事情

公用語はクレオール語、英語、仏語。

初等教育 1 年から英語及び仏語を学習し始め、初等教育 3 年からは教育言語が英語となる。

外国語教育

外国語教育について特に規定はない。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4.学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

学校教育以外

教師作成の教材を使用。

I T ・視聴覚機材

特になし。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

学校教育以外

特に基準はない。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用は確認されていない。

教師研修

現職の日本語教師対象の研修は確認されていない。

現職教師研修プログラム（一覧）

特になし。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークは確認されていない。

7.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

8.評価・試験

評価・試験の種類

共通の評価基準や試験は確認されていない。

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。

なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kunikatsu@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）